

大垣市でデザイン経営セミナー

「ユーザーの観察、大切」

アートディレクター 小森さん講演

企業のブランド構築やイノベーション創出に向け、「デザイン経営」を学ぶセミナーが、大垣市恵比寿町の大垣西濃信用金庫本店で開かれた。ポン・アヴェック・アート(岐阜市)社長

でアートディレクターの小森和代さんが講演し「強みがあるのに伝えられていない会社が多い。デザインで流れを変えてチャンスにつなげて」と呼びかけた。

デザイン経営は競争力向上につながるとして経済産業省や特許庁が推奨。セミナーには同金庫の取引先経営者ら約30人が参加した。小森さんはデザイン経営は「観察」から始めること



デザイン経営について語る小森和代さん＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本店

が重要とし「聞いて、調べて、比較すること。ユーザーの観察から価値を考え、思いのずれを軽減して」と指南した。

これまでデザインを手がけた製品も紹介。企画段階から参画し、販売の現場を何度も訪れ、よく観察して具体的な改善点を見いだした経験を振り返ったほか、ヒット商品を生み出すためのアイデアを紹介した。

(宮本寛)